

花

センターより

緑

2010・3
12号

(財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

花と緑のまちづくりセンターの今後の展開方針について ～県民の花緑活動団体とともに

平成22年4月1日

(財)兵庫県園芸・公園協会理事兼
花と緑のまちづくりセンター長
石原 憲一郎



花や緑は、四季を通して私たちの心に潤いをもたらすとともに、生活環境の向上、美しく個性豊かなまちなみの創造、地域コミュニティーの形成、さらに観光振興にと大きな役割を果たしています。また、地球温暖化対策や、生物多様性の確保など自然環境の質の向上、環境教育など、今後その役割はますます大きくなってきます。

近年、花や緑を取り入れたライフスタイルが広まる中で、花や緑を植え育てる活動が、個人の庭づくりからグループによるオープンガーデンへ、さらに公園や沿道の花かざり、教育施設の緑化、空き地や遊休農地の緑化、里山の管理など多方面に広がるとともに、活動内容も組織的、専門的に大きく進化しています。

兵庫県では、平成18年に策定された「ひょうご花緑創造プラン」に基づき、美しい県土づくりの一環として花と緑の持つ役割と効果を大きく評価しており、県民の花緑活動を支援しています。

平成19年4月、(財)兵庫県園芸・公園協会では、県民の花緑活動を推進する中核的施設として、「花と緑のまちづくりセンター」を設置し、県内各地



校庭緑化(豊岡市)

域と密接な連携をとりながら、活動支援、普及啓発、調査研究等幅広い活動を行っています。

この3年間県民の参画と協働による活発な花緑活動(自前の花苗による活動などの自立性向上や在来種導入による花壇づくりなどの環境に配慮した活動の活発化)など概ね、展開方針通りに目標を達成しているのではないかと認識しています。

さて、次の3か年の目標を掲げるべく、平成22年3月10日に、当センターの運営に関する審議機関でもある「花と緑のまちづくりセンター企画運営懇話会」が開催されました。今後3年間の目標として、これまでの目標を継承、発展させ、①「ハード重視」から「ソフト重視」へ、さらに、「ヒューマン重視」への転換②「消費型」から「持続型」、さらに「地域型」への転換③オープンガーデン活動への支援拡充を掲げていきます。

今後はさらに、活動団体の自立性を高めるため、団体の構成員を対象とした人材育成や、ひょうごガーデンマイスターなど県内の花と緑に関する「達人」の人材バンクの立ち上げ、県下各地の活動団体や活動グループへの専門家派遣を行うとともに、全国で最も盛んな県下のオープンガーデン運動のさらなる助長を図ることを重点的に進めていきます。

兵庫県を代表する花と緑のまちづくりに関する総合支援センターとして、皆様に親しまれ、信頼され、お役に立てることをモットーに、これからも職員一同努力していきますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。



子どもたちへの緑化資材の提供

兵庫県の風土を活かした庭づくり

第4回 狭小地で使いやすいツル植物

兵庫県立淡路景観園芸学校

主任景観園芸専門員 能勢 健吉

狭小地の庭づくりと題してツル性植物の利用を前号で推奨したが、ツル性植物の性質に基づいた使い方についてもう少し説明する。

植栽する場合のツル性植物のツルの伸び方は①登攀性、②下垂性と③誘引の必要なものと3タイプに分かれる。(下表参照)

登攀する(よじ登る)ものではセイヨウキヅタのような、壁に付着してツルが伸びるグループがあり、自然状態では樹木の幹や岩に付着して生育している。巻きついて伸張するグループでは、茎が巻きつくスイカズラ、葉柄や花梗がまきつくクレマチスが代表的な例である。巻きひげで絡み伸張するものとしてトケイソウがある。

次に下垂するタイプはツルは伸張するが、巻きついたりせずに下方へ垂れさがるものである。

誘引の必要なものとしてはビナンカズラ等がある。また、半ツル性の植物を誘引することもある。

では、具体的にこれらのツル性植物の利用法を説明しよう。登攀性のものはブロック塀、石やレンガの壁面などに這わせる。オオイタビやイタビカズラは生育が遅いので早期に緑化しようとする場合、生育の早いナツツタと混植する。ナツツタは落葉性で春の新緑や秋の紅葉が美しい。オオイタビやイタビカズラは常緑で季節感は少ないものの常に緑であり、目的によって



ノウゼンカズラ

どちらを主体にするのか決めるのが良いだろう。キヅタ類は登攀性ではあるが強風などで剥がれやすい欠点がある。

巻きつき性のフジ、ノウゼンカズラなどはフェンス、パーゴラなどに絡ませて利用する。住宅のフェンスなどにはクレマチス、スイートピーなどの花を觀賞するものもよいだろう。緑の状態を長く保ちたいならムベ、ビナンカズラ、キヅタ類などが良いだろう。

下垂性のものは石垣や擁壁の上部から垂らして緑化する場合が多い。コバノランタナ等半ツル性植物も下垂させると見事である。

誘引するものはフェンスに絡ませることが多いが、半ツル性の植物を誘引する方法もある。ミヤギノハギ等で作るスクリーンは例が少ないが機能的で薄いスクリーンが可能となる。

① 登攀性タイプ		② 下垂性タイプ		③ 誘引の必要なもの	
壁に付着して伸びる植物	巻きついて伸びる植物	ツル性植物	半ツル性植物	ツル性植物	半ツル性植物
セイヨウキヅタ イタビカズラ ツルマサキ オオイタビ ナツツタ ノウゼンカズラ	スイカズラ、フジ クレマチス、ムベ アケビ トケイソウ スイートピー フウセンカズラ ビナンカズラ	キソケイ ツルニチニチソウ	コンボルブルス 'ブルーカーペット' コバノランタナ カルポプロタス '短剣'	ビナンカズラ カナリーキスタ モッコウバラ	ミヤギノハギ ブルンバーゴ



コバノランタナ



ビナンカズラ

ガーデニングクラブの紹介

NPO法人 さわやか緑花クラブ

理事長 福井 澄栄

○発足の経緯

街路樹の下には犬の糞があり、また子どもたちが殆ど利用しなくなった公園は殺風景で魅力が無く、防犯上の問題もあり、何とか安全で潤いのある魅力的な地域にしたいと思っておりました。

街路樹の下に花を植えればマナーも良くなるのではと考え、阪神淡路大震災の被災地に物資を運んだボランティア仲間、日生ニュータウン内の街路樹の下に丈夫なマツバボタンを植えました。

その後平成12年に「さわやか緑花クラブ」を立ち上げ、民有地（空き地）を無償でお借りして花壇づくりを始めました。平成14にはコミュニティガーデンの創設と維持管理を通し



オープンガーデンの風景

て、やすらぎと潤いのあるユニバーサル・デザインのまちづくりの推進を図り、次世代に引き継いでいけるよう「NPO法人さわやか緑花クラブ」を立ち上げました。

○活動内容

こうした花壇づくり活動の他にオープンガーデンの



開催にも活動の場を広げ、平成16年に「第1回いなわオープンガーデン」を、平成21年からは川西市と合同でオープンガーデンを実施し、55邸が参加して下さいました。

今年は5月21日（金）、23日（日）、25日（火）の3日間「第7回いなわ川西オープンガーデン」を開催します。みなさまのお越しを心からお待ちしております。

HIOKA花くらぶ (加古川市)

代表 今村 幸代 ・ 浦野 文子

○発足の経緯

平成8年、加古川市立日岡山公園育苗園のガーデナーの指導の下、約20名でスタートしました。2年後、1班5～6名から成る5班を編制し、会全体で活動する一方、それぞれで班活動も展開しています。

○活動内容

活動の中心拠点は育苗園で、4月にペチュニア、10月にパンジー、ビオラの苗約7～8万株を鉢上げし、

学校や市役所などの公共施設や老人会などに配布し、加古川市とともに植栽管理しています。また各自で育てた苗や寄せ植えなどを、



育苗園ハウスのペチュニア

加古川市植樹祭・花とみどりのフェスティバルで販売するとともに、寄せ植え、ハンギングバスケットづくりの指導もしています。収益は活動費や研修旅行費に

当てています。その他、班独自の活動は多岐にわたり、JR加古川線の神野駅や日岡駅、神野公園、広岡公園、市立山手公民館前、土坂花壇、平荘湖水辺の花壇の植栽管理も長年継続して行っています。そうした活動が認められて、平成17年に国土交通大臣賞を頂きました。のじぎく国体（平成18年）では会場内にプランターやハンギングバスケットを設置する飾花活動を担当しました。最近では県立フラワーセンターにも活動の場を広げ、花壇の整理をしたり、寄せ植えやハンギングバスケット等を作り、園内に飾っています。

その他、ひょうごまちなみガーデンショーや加古川

市植樹祭・花と緑のフェスティバルのコンテストなどに出席し、頑張っています。



花と緑のフェスティバル

家庭菜園を楽しむ 後編

兵庫県立農林水産技術総合センター
技術参与 大西 忠男

1 野菜づくりに取り組むに当たって

(1) 栽培時期に適した作りやすい品種、苗を選ぶ

種苗店などでは、いろいろな品種が販売されています。品種によって、栽培時期や耐病性・耐寒性・形・味・作り易さなどが異なります。目的にあわせて選ぶことが大切です。

果菜類の苗は、茎が太くガッチリして、節間が短く、葉色が濃く葉がのびのびと開き、病害虫がついていないこと、子葉がついていることなどの条件を満たしている苗を選ぶようにします。また接ぎ木苗の方が栽培が容易です。

(2) 野菜に必要な肥料と施肥方

植物の成長には、窒素、リン酸、カリの3養分が最も必要で、これを「肥料三要素」と呼び、これ以外にカルシウム、マグネシウムやホウ素、マンガン、鉄などの微量元素が必要です。三要素は化成肥料、有機質肥料などに、カルシウム、マグネシウムはpHの改善に施用する石灰質資材に、微量元素は堆肥などに含まれています。

野菜の施肥量(成分量)は、表1に示しました。元肥は、秋冬作では全施肥量の1/2程度、春夏作では1/3程度を施用し、残りは追肥として野菜の生育に応じて2~3回に分けて施用します。

養分の過不足や土壌が乾燥すると生理障害が発生します。

表1 野菜の施肥量

野菜の種類	成分量g/m ²		
	窒素	リン酸	カリ
トマト、なす、ピーマン、きゅうり、ブロッコリー、キャベツ、はくさい	30~40	15~30	30~40
レタス、たまねぎ、さやいんげん	20~25	10~15	20~25
ほうれんそう、しゅんぎく、こまつな、チンゲンサイ、だいこん、にんじん、みずな、みぶな、あおじそ、ばれいしょ、さといも、かぶ、バジル	10~20	8~10	10~20
モロヘイヤ、葉ねぎ	20~30	10~20	20~30
かぶ、えんどう、イチゴ	13~16	6~15	12~13
かんしょ	4	5	7

※肥料袋には、各成分の含有率が記載されていますので、確認して使用して下さい。

(3) 畝幅、株間、栽植本数

野菜の栽植密度は、野菜の株当たりの占有面積をもとに株間、栽植条数が決まります。主な野菜について畝幅、栽植条数、株間を表2に示しました。

表2 露地栽培野菜の畝幅、栽植条数、株間

野菜の種類	畝幅(cm)	栽植条数	株間(cm)
トマト、なす、ピーマン、きゅうり	135~150	1	40~60
キャベツ、ブロッコリー、はくさい、レタス、モロヘイヤ、あおじそ、バジル	120~135	2	30~40
ほうれんそう、しゅんぎく、こまつな、かぶ	120~135	2~3	4~6
チンゲンサイ、にんじん、かぶ、葉ねぎ、みずな	120~135	2~3	7~15
だいこん、いちご	120~135	2	20~30
たまねぎ	120~135	2~4	10.5~12
ばれいしょ	120~135	2	30
さといも、さやいんげん、えんどう、そらまめ、かんしょ	100~120	1	30~40



(4) 病害虫、雑草の被害を抑える方法

A 耕種的防除法：品種、栽培技術の改善によって防除する方法

- ①抵抗性品種：うどんこ病(キュウリ)、根こぶ病(はくさい)、萎黄病(キャベツ)など
- ②接ぎ木：なす、すいか、トマトなど
- ③輪作：同一科の野菜の連作をしない

B 物理的防除法：被覆、熱など物理的な方法で防除する方法

- ①手作業による防除：害虫の捕殺、病葉の除去、手取り除草、中耕、培土
- ②太陽熱を利用した土壌消毒、熱水消毒、蒸気消毒、焼土
- ③ネット被覆による害虫の進入防止、雨よけによる病害予防
- ④黒ポリエチレン、再生紙、敷きわら、堆肥などのマルチングによる雑草抑制

C 生物的防除法：天敵、拮抗微生物などの生物農薬などを用いて防除する方法

D 化学的防除法：化学農薬を利用する方法

2 夏野菜を楽しむ

●**トマト** 日本ではピンク系の大玉トマトが主流で、サラダや付け合わせなどで生食用として利用されてきました。近年、糖度が高く、果実の重さが10～20gのミニトマト、40～50gのミディトマトの品種が出回るようになりました。また、調理用には缶詰や加工品を使うことが多かったのですが、最近では赤色のトマトでリコピンを多く含む調理用トマトが販売されるようになりました。

露地栽培の作型と主な作業を図1に示しました。

定植後は支柱を立て、誘引、わき芽取りを行います。第1花房が出た後、葉が3枚展開する毎に花房が出てきます。5～6花房が出たら摘芯します。7月初旬から収穫が始まります。

主な病害虫は、アブラムシ、ハスモンヨトウ、ウイルス病、疫病などです。ウイルス病はアブラムシや発病株の接触などで伝染し、発病すると回復しませんので早めに抜き取るようにします。疫病などの病害は雨よけが有効です。

写真のイタリアトマトは、約20年前に種子を入手し、それ以来採種を続け毎年栽培しています。11月上旬まで収穫ができ調理用として使用しています。現在、市販のトマトはほとんどがF1種(交配種)ですので種とりをしても同じトマトはできません。

●**エンサイ** ヒルガオ科の野菜でクウシンサイ、アサガオナとも呼ばれ、東南アジア各地に自生している熱帯原産の野菜です。気温が高くなった5月に播種します。茎が伸びてくると先端部を収穫します。高温期には再生力が旺盛で何回も収穫できます。気温が低くなるとともに生育は衰え、降霜すれば枯死します。秋に朝顔のような花が咲きますが種子はとれません。害虫はヨトウムシ類が発生します。炒め物に最適な野菜です。



<いろいろなトマト>

図1 トマトの露地栽培の作型と主な作業

月	5月	6月	7月	8月	9月				
作付期間	▼	←	□	□	□	□	□	□	□
主な作業	定植	芽かき 誘引	追肥	収穫開始 摘心	追肥 収穫最盛期	収穫終わり			

凡例：▼:植え付け □:収穫



<エンサイ>
(先端の柔らかい莖葉を収穫する)

<エンサイの花>

2010年 春のオープンガーデン情報

4月から6月にかけて兵庫県下で開催されるオープンガーデンの日程をご案内します。
詳細は各主催団体にお問い合わせ下さい。

名 称	地 域	日 程	問 い 合 せ 先
1 花ハート神戸オープンガーデン	神戸市	4月18日(日)、19日(月) 10時~16時 5月23日(日)、24日(月) 庭によってオープン日が異なります	花と緑のまち推進センター ☎ 078-351-6756 FAX 078-341-8710
2 芦屋市オープンガーデン2010	芦屋市	4月17日(土)~4月29日(木・祝)	芦屋市公園緑地課 ☎ 0797-38-2065 FAX 0797-38-2163
3 宝塚オープンガーデンフェスタ 2010	宝塚市	4月24日(土)~29日(木・祝)	あいあいパーク ☎ 0797-89-5933 FAX 0797-82-3571
4 宝塚オープンガーデン	宝塚市	4月20日(火)、21日(水)、 22日(木)	宝塚オープンガーデンの会 遠藤☎0797-87-0761(F)
5 三田花と緑のネットワーク オープンガーデン (三田市では、三田まちなみ ガーデンショーの中で実施)	三田市 神戸市北区上津台 喜蒲が丘、鹿の子台	5月22日(土)、23日(日)	三田花と緑のネットワーク 黒木☎090-5067-9620 まちなみガーデンショー 実行委員会 (三田市役所公園みどり課内) ☎ 079-559-5253
	西宮市山口町 神戸市北区道場町 藤原台、有野台 鈴蘭台、筑紫が丘	5月28日(金)、29日(土)	
6 オープンガーデン伊丹	伊丹市	4月10日(土)~5月23日(日)	大池橋ミニバラ公園グループ 三上☎090-3629-1827
7 第7回 いながわ川西オープンガーデン	猪名川町 川西市	5月21日(金)、23日(日)、 25日(火)	川西市緑化協会 ☎ 072-759-0805(F) NPO法人 さわやか緑花クラブ 福井☎072-766-1554(F)
8 上西二見オープンガーデン	明石市	4月16日(金)、17日(土)、 18日(日) 10時~16時	明石市立上西厚生館 ☎ 078-942-2015(F)
9 中播磨オープンガーデン2010	姫路市 神崎郡	4月16日(金)、17日(土)、18日(日) 5月21日(金)、22日(土)、23日(日)	中播磨ハートフルネット 澤田☎0790-22-1784(F)
10 オープンガーデンinAIOI	相生市	5月22日(土)~5月25日(火)	相生市役所まちづくり推進室 ☎ 0791-23-7130 FAX 0791-23-7137
11 花まつり	たつの市新宮町	4月18日(日) 11時~14時	ひとひらの花 山口 ☎ 0791-77-0222
12 チューリップコンサート	たつの市新宮町	4月18日(日) 13時~15時	ちづちゃんの花園 松浦 ☎ 0791-77-0076(F)
13 あさごオープンガーデン	朝来市	6月11日(金)~6月15日(火)	朝来公民館 ☎ 079-677-2112 FAX 079-677-1513
14 たんばオープンガーデン	丹波市	丹波市 5月23日(日)、24日(月)	(財)兵庫丹波の森協会 ☎ 0795-73-0933
	篠山市	篠山市 5月30日(日)、31日(月) 個人公開日 4月上旬~6月下旬 (庭の花期に合わせた日)	丹波の森花くらぶ 松本 ☎ 090-8200-8381
15 多可オープンガーデン	多可町	4月25日(日)~5月23日(日)	多可町観光交流協会 ☎ 0795-32-2381 FAX 0795-32-2349
16 訓谷オープンガーデン	香美町 香住区訓谷 香住区上岡	4月18日(日)、19日(月) 9時~17時 スイーツや焼きたてパンのおもてなし 宿泊やお弁当の予約先 民宿「なぎさ」☎0796-38-0335	香美町役場町民課 ☎ 0796-36-1110

名称	地域	日程	問い合わせ先
17 とよおかオープンガーデンショー	豊岡市日高町	5月21日(金)～5月25日(火)	日高町花と緑の協会事務局 ☎ 0796-44-1275
	豊岡市 (日高町以外)	5月28日(金)～6月1日(火)	オープンガーデン実行委員会 ☎ 0796-42-1785
18 あわじオープンガーデン	淡路島内	4月24日(土)、25日(日) 5月15日(土)、16日(日) 6月は各庭主さんの希望日	あわじオープンガーデン 実行委員会事務局 (ライアデザインショップ内) ☎ 0799-53-5880

2010年オープンガーデンマップ

今年もオープンガーデンの季節がやってきました。
ガーデナーさんの思いがいっぱい詰まった美しいお庭を訪ねてみませんか。



平成21年度 花緑いっぱい運動推進

但馬地域

開催日：平成21年10月26日(月)
 場 所：兵庫県豊岡総合庁舎
 テーマ：チキンワイヤーを使って但馬地方に適したポシェットを作る。
 参加者：30人
 講 師：太田よしの(ひょうごガーデンマイスター★)
 内 容：参加者はポシェットの形を工夫したり、その中に飾る花をアレンジして、地域に広めようと熱心に作成しました。また、コリウスの簡単な仕立て法やナメクジ対策についても学びました。



←講師の太田よしのさん



できあがりイメージ



↑研修風景

丹波地域

↓研修風景



↓花壇づくり



←素敵な花壇が出来上がりました



講師の稲澤範治さん



開催日：平成21年11月17日(火)
 場 所：かどのの郷(丹波市氷上町)
 テーマ：日常行う花の管理
 参加者：94人
 講 師：稲澤 範治(ひょうごガーデンマイスター★)
 内 容：午前は土の選び方、挿し木の仕方などの講義、午後から花壇づくりの実習をしました。実際に講師が木を植え、アドバイスをしました。わかりやすい指導で、多くの方が満足されました。

中・西播磨地域

開催日：平成21年11月21日(土)
 場 所：地域内の3花壇及び3私邸
 テーマ：今後の花壇について
 参加者：16人
 講 師：稲澤 範治(ひょうごガーデンマイスター★)
 内 容：各地域の花壇を見学し、移動中のバス内で意見交換し、花壇管理者が花壇づくりへの思いや体験談を披露しあい、参加者が感想や労いを語って互いに花壇づくりへの励みになった。



せせらぎ花壇(北)



↑鎌田邸



↑西田邸



員研修会及びワークショップ報告

★ひょうごガーデンマイスターは登録商標です。

北播磨地域

開催日：平成21年11月30日(月)
 場 所：北播磨田園空間博物館（西脇市寺内）
 テーマ：〈午前〉花いっぱい運動についての心得の講義と花壇の植栽計画
 〈午後〉計画した花壇の植栽実習

参加者：17人
 講 師：岡井 久夫(ひょうごガーデンマイスター★)
 内 容：3組に分かれて植栽デザインをし、それぞれのプレゼンテーションの後、投票を行いました。午後からは、デザインを基に植栽。来年イメージ通りの花壇になるか期待が膨らみます。



講師の岡井久夫さん



植栽デザイン考案中



上手に植栽できました！



投票により、このデザインに決定

東播磨地域



講師の浦野文子さん



↑こんなに豪華で立体的な寄せ植えができあがりました！



←みなさん熱心に作業

開催日：平成21年12月12日(土)
 場 所：加古川市立氷丘公民館
 テーマ：クリスマスからお正月に飾る初心者向けの寄せ植えの仕方を学び、地域での和(輪)を広げる

参加者：40人
 講 師：浦野 文子(ひょうごガーデンマイスター★)
 内 容：飾りを付け替えることで、クリスマスからお正月まで楽しめる寄せ植えの実習を行いました。またモロヘイヤの枝を後ろに立てることで立体的な作品に仕上がりました。

淡路地域

開催日：平成21年1月31日(日)
 場 所：淡路島内の10花壇
 テーマ：今後の花づくりや花壇について
 参加者：46人
 講 師：山田益男
 (花と緑のまちづくりセンター 緑の相談員)
 内 容：淡路地域の花壇をバスに乗って見学し、それぞれの花壇について講師からのアドバイスを基に話し合いを行い、今後の花づくり・花壇づくりの普及について考えました。



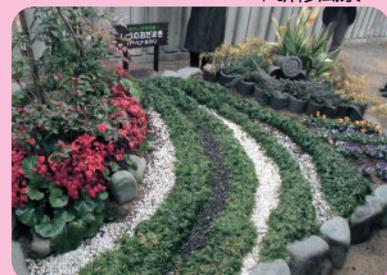
講師：山田益男さん



↑研修風景



津名花壇 アロエが印象的！



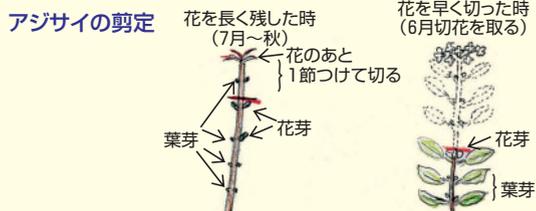
↑しづのおだまき

アジサイの剪定

Q 毎年花後にアジサイの剪定を行っていますが、花付きがよくありません。来年、花を十分楽しめる剪定方法を教えてください。

A アジサイは6月頃から開花し、花が長く鑑賞できます。来年のためには早めに剪定（6～7月）します。花とその下1節を切除し、花の下2節目以下を残します。10月頃、残した節の上部1～2節の脇芽に花芽が出来ます。未開花の枝は、そのまま残し、来年はこの芽が伸びて、その先端に花房を着けます。開花直後に切花する時は、枝の途中で切れば、残った枝の先端の節の脇芽に花芽を持つ事があります。開花後早く切ることがポイントです。

毎年花下の剪定を続けると次第に草丈が高くなるので、株を小さくする場合は、7月上旬に株元2～3節を残して剪定しますが、翌年花が咲きません。



マツのみどり摘み

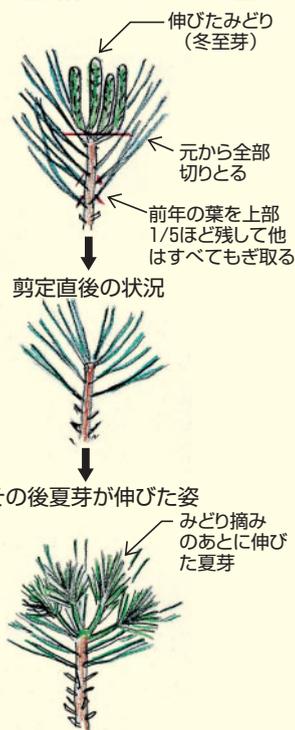
Q 庭のクロマツを自分で手入れしたいので、春のみどり摘みの方法を教えてください。

A マツ類の剪定では、春のみどり摘みと秋のみみ上げが代表的な剪定で、必ず行いたい手入れです。

みどり摘みは、4月下旬から6月上旬にかけて、前年の枝の芽先に発生した冬至芽が伸長してくるので、この伸びた芽をすべて根元から折り取ります。次に前年の葉を約5分の1程度残して下の葉をもぎ取ります。

やがて、夏に残った脇芽が発芽し、短い枝を発生します、これを夏芽とよびます。この芽の2～3本を秋のみみ上げで残します。

みどり摘み (4月下旬～6月上旬)



●●● 季節の園芸相談 ●●●

相談員 山田 益男

トマトの定植と施肥方法

Q トマトを元気よく育てたいとがんばっていますが、花房の茎が長くなり、花が落ちたりします。栽培要点を教えてください。

A トマトは、晩霜の無くなった5月上中旬に定植します。苗は、本葉が7～8枚、節間が詰まり茎が真っ直ぐでガッチリしており、第1花房が開花し始めて、双葉が残っているものを選び、苗を定植します。元肥が多いと花が落ちる現象が現れます。これを、草ぼけ（草でき・木ぼけ）などと言います。第1花房の花が落ち、次の第2花房も着花しないことがあります。これを避けるため、元肥は控え目にし、㎡当たり油粕4握り、堆肥7リットル、化成肥料1握り程度施します。植え付けは、前日に植え穴に、液体肥料500倍液をたっぷり施しておき、風のない日の午前中に行います。仮支柱を立て、当日は灌水せずに翌日の午前中に水やりします。1条植えの場合は、北か東に花房が向くように植え、強光線による果実の日焼けを防止します。追肥は第1花房の果実がピンポン玉くらいの大きさになってから施します。速効性の化成肥料を㎡当たり1握り（30～40g）2週間ごとに施します。

財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

** 園芸相談コーナー **

草花・花木など

花と緑のことならなんでもご相談をお受けします。写真や実物をご持参いただきますと、お話ししやすくなります。

Tel 078 (918) 2405
10:00～16:00

Fax 078 (919) 5186

EX-メールアドレス: info_midori@hyogopark.com

～人丸小学校環境体験事業～

人丸レンジャー★hm明石公園



明石市立人丸小学校3年生の環境体験学習が今年度4回にわたり明石公園内で行われ、当センター職員も支援者の一人として協力しました。この体験学習は、こころを育み、自然、くらし、社会を総合的に学ぶ環境学習・教育をめざすもので、兵庫県が推進している環境体験事業の一環として行われました。

体験学習では、「自然にふれ、自然のつながりを感じる人丸レンジャー」をテーマに、マイツリー※を始め、様々な生き物を観察しました。

初めは落ち葉に触るのも気持ち悪がっていた子どもたちもいましたが、1年を通じての観察で、自然の中の小さな命の存在に気づいて思いやりの心が芽生えてきたと思います。



<オオミノガ> <マユタテアカネ>

<マイツリー>



↑子供たちから作文と絵がプレゼントされました★

※明石公園東芝生広場にある樹木の中から一人一人がお気に入りの木(=マイツリー)を決め、一年を通して観察しました。

花ごよみ

	花名	4月	5月	6月
フラワーセンター	ユキヤナギ・レンギョウ	●		
	パンジー・ビオラ	●	●	
	チューリップ・クリサンセマム	●	●	
	ハクモクレン	●●		
	サクラ	●●		
	コバノミツバツツジ	●		
	フジ	●●		
	ダイアンサス	●	●●	
	ワスレナグサ	●	●	
	ボタン		●	
	バラ		●	●●●
	サルビア・マリーゴールド			●●●
	甲山森林公園	コバノミツバツツジ	●●	
イヌノフグリ		●●		
タチツボスミレ		●●		
イヌザクラ・ヒメハギ		●	●	
サトザクラ		●●		
ザイフリボク・クサイチゴ		●●		
キランソウ		●●	●	
ミヤマキリシマ		●●	●	
モチツツジ		●●	●●	
マルバアオダモ		●	●●	
ウツギ			●●	●
コバンソウ			●●	●●
オカラノオ				●●
一庫公園	ミツバツツジ類	●●		
	エドヒガン・コブシ類	●●		
	ウミズザクラ・ウツギ(ウハナ)	●		
	ヤマボウシ・ホオノキ	●	●	
	タニウツギなど		●●	
	エゴノキ		●●	
	ラベンダー(フレンチ)			●●

	花名	4月	5月	6月	
西猪名公園	アセビ・オトメツバキ	●			
	ユキヤナギ・レンギョウ	●●			
	ソメイヨシノ	●●			
	シダレザクラ・ヤエザクラ	●●			
	ノースポール	●●	●●		
	シバザクラ・ハナミズキ	●●	●		
	フジ	●●	●		
	ベニカナメモチ		●●	●	
	ツツジ・コデマリ		●●	●	
	サツキ		●●	●●	
	ドウダンツツジ		●●	●	
	宿根バーベナ・ハクチョウゲ		●●	●●	
	シモツケ			●●	
アジサイ・ヘメロカリス			●●		
ヒペリカム・カリシナム			●●		
クチナシ			●		
播磨中央公園	コバノミツバツツジ	●●			
	ライラック	●●	●		
	リキュウバイ	●●	●●		
	ハンカチノキ		●●		
	ユリノキ		●●		
	オオデマリ		●●	●	
	カリステモン		●●	●●	
	ウツギ		●	●	
	北播磨余畷村公園	ソメイヨシノ	●●		
		ハナミズキ	●●	●	
シャクナゲ			●●		
ヤマボウシ			●●	●●	
ヒツパタゴ(ナツジャモンジャノキ)			●●		
バラ				●●	
オオヤマレンゲ				●●	
ハナショウブ			●●		

県下の公園紹介

第4回☆☆☆あわじ花さじき

あわじ花さじきは、花の島淡路島にふさわしい花の名所、観光スポットとして明石海峡大橋開通に合わせて平成10年4月に開設されました。

明石海峡・大阪湾を背景に、淡路島北部丘陵地域の頂上部、標高298～235mの海に向かってなだらかに東へ広がる高原一面に約15haの花の大パノラマを展開させています。

眼下に広がる花のじゅうたんを楽しめる極上の見物席として『あわじ花さじき』と命名されました。



癒しの花園の菜の花(3月上旬から4月中旬)



アイランドポピーの花畑(4月中旬～5月中旬)



天空の花園～その年々のテーマにあわせデザインをし、草花で花絵を描く企画花壇

来園者が年間を通して花を楽しめるように、『天空の花園』、『歓びの庭』を中心に、話題性のあるテーマやデザインを取り入れて植栽しています。

今年は淡路全島で淡路花博2010花みどりフェア<3/20(土)～5/30(日)>が開催され、そのサテライト会場にもなっていますので是非ご来園下さい。

○『菜の花まつり』 3月20日～4月25日

○『ポピーまつり』 4月26日～5月30日



歓びの庭～宮沢賢治設計の花壇『ティアフル・アイ(涙ぐむ眼)』をモチーフに植栽

ご利用についてのお問い合わせ先 あわじ花さじき現地案内所
〒656-2301 淡路市楠本2865-4 TEL&FAX 0799-74-6426

花と緑の行事ほか

4月

フラワーセンター	チューリップまつり 450品種30万本 オランダ衣装試着体験 春咲きエビネとヤマアジサイ展示即売会	～5/5 ～4/29土日祝 4/8～4/13
	春の植木まつり	4/10～5/5
	日本サクラソウ展	4/18～5/5
	サラセニア展	4/22～5/31
	春の山野草展	4/24～5/5
播磨中央公園	さくらまつり	4月上旬
一庫公園	「ハンギングバスケットをつくる」	4/19

5月

フラワーセンター	カラーリーフガーデン	5/9～5/30
	東播磨さつき展、ヤマアジサイ展示即売会	5/27～6/1
播磨中央公園	新緑のまつり	5/3・4・5
	春のばらまつり	5/20～6/6
北播磨余暇村公園	バラ・花しょうぶまつり	5/20～6/20

6月

フラワーセンター	全日本皐月会さつき展	6/3～6/8
	寄せ植えコンテスト	6/4～6/27
	ウチョウランと班入り植物展	6/17～6/22
一庫公園	ラベンダーの挿し木教室	6/17

花と緑のまちづくり センターだより 12号

- 平成22年3月31日(年4回発行)
- 編集発行
財団法人 兵庫県園芸・公園協会
花と緑のまちづくりセンター長
石原 憲一郎

〒673-0847 明石市明石公園1-27
花と緑のまちづくりセンター
TEL : 078 (918) 2405
FAX : 078 (919) 5186
Eメール :
info_midori@hyogopark.com

～ 編集後記 ～

全く雪の気配がないままに播磨地方の春は訪れました。冬を充分実感できない分、春の恵みを受け入れる感性は危うくなっています。花粉の飛散量だけで春の気配を知るのは悲しいですね。さて、花緑のイベントたけなわのこれからの季節。大いに戸外に繰り出して、芽吹きを愛でる感性を研ぎ澄まして下さい。